



2025年7月発行

沼津市文化財 センター通信 Vol.16



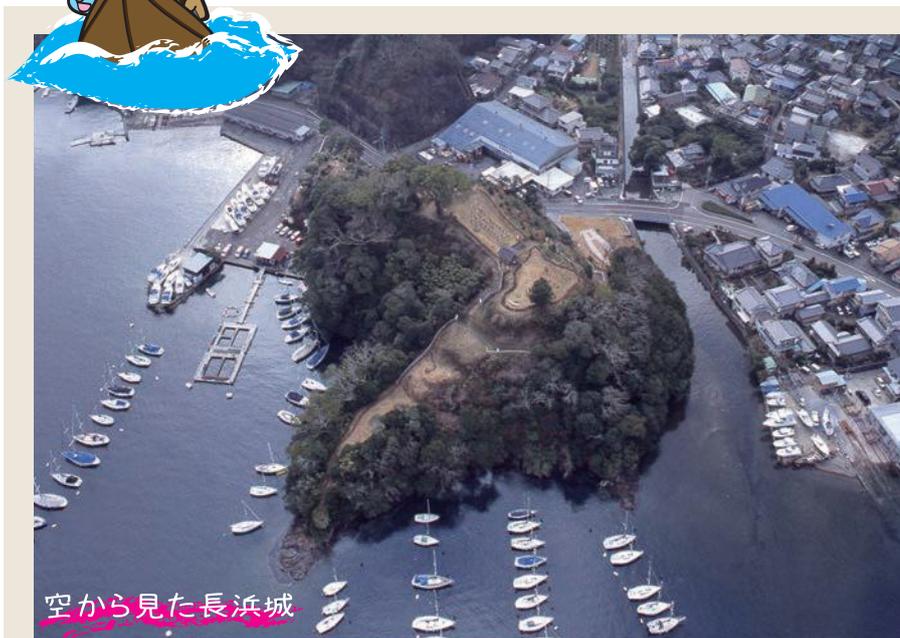
文化財通信
バックナンバー



沼津市公式YouTube Ch.
(沼津の歴史紹介)



ながはまじょう 長浜城と戦国時代の海賊衆



空から見た長浜城

長浜城は沼津市の南部、内浦に築かれた約450年前の戦国時代の城です。2025年は、この城が現代に復元されて10周年となる記念の年です。そこで、今回と次回に2回に分けて長浜城についてみていきます。

長浜城は戦国時代の城といっても、天守閣のような大きな建物に殿様が住んでいたわけではありません。堀（城を守るための溝）を掘ったり、土を盛ったりして造られた、敵と戦うための実戦的な形をしていました。この城が造られ

た正確な時期はよくわかっていませんが、1579年に書かれた古文書に長浜城のことが記されています。

この古文書が書かれた当時は、戦国大名の北条氏と武田氏との間で戦いが始まったころでした。武田氏は現在の沼津中心市街地の中央公園が本丸となる三枚橋城を築きました。それに対抗して北条氏は、駿河湾を挟んだ内浦の重須に船着き場を整備し、各地から海賊衆を集めました。

突然「海賊」という言葉が登場して驚いたかもしれません。実は戦国時代には「水軍」という言葉はなく、海で戦う人のことを「海賊」と呼んでいました。ただこの海賊という言葉でイメージされる姿は、東日本と西日本では違っていたようです。

東日本の海賊は、ある時は海を行き交う商人、またある時は戦国大名などにお金で雇われて戦う海の武士団でした。一方、西日本、特に瀬戸内海周辺の海賊は、戦いも行いますが、平和なときは瀬戸内海を通過する船から通行料を取ったり、その見返りとしてよそから来た人を安全に航行させる海の案内人であったりもしました。現在使われている海賊という言葉は、相手からモノを奪い取るような人たちを想像しますが、日本列島における戦国時代の海賊は、そうした姿とは少し違っていたのです。

さて、長浜城に船着き場が整備されたのち、北条氏の海賊の大将である梶原景宗がやってきました。彼は紀伊国（現在の和歌山県）出身の海賊でしたが、最先端の軍船とともに、対武田氏との戦いの切り札としてその手腕を買われて北条氏に迎え入れられた人物でした。



▶▶ 次回は1580年から始まる駿河湾海戦についてです。



むかしの世界へ タイムスリップ

夏休み文化財イベント
2025

日時 8月3日(日) 10:00～15:00 (最終受付 14:30)

場所 沼津市民文化センター2階 第3練習室ほか

対象 小学校低学年から中学3年生までの児童生徒

主な内容 当日受付

- ・土器づくり・勾玉づくり
(各先着 50名 有料 各 500円)
- ・文化財に触れてみよう
- ・発掘調査体験
- ・博物館などの出張ミニ展示

事前申し込み

- ・生け花体験 <午前のみ>
(20名限定 有料 1000円)

生け花体験
申し込みは
こちら!



国指定史跡長浜城跡開園10周年記念イベント

講演会

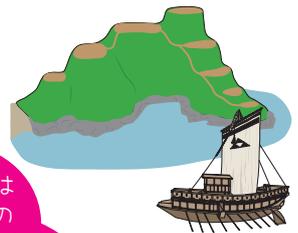
「駿河湾の海の城と海賊 葦山外張先之城二候」

日時: 8月30日(土) 11:00～16:20

場所: 沼津市立図書館視聴覚ホール

要申込 / 定員 200名 / 無料

講演会申し込み



くわしくは
8月以降の
広報ぬまづを
みてね!

子供向け体験イベント

日時: 第1回 9月20日(土)

第2回 11月8日(土)

場所: 長浜城跡

要申込 (8月以降の広報ぬまづでお知らせします)

第1回 長浜城跡で暮らす海岸動物の採取・鑑定など

第2回 長浜城跡でみられるジオスポットめぐり



案内図



沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分

(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)

見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

